

## ■ 小林市立野尻中学校

開催日：令和6年11月15日（金）14時～14時50分

受講者：1～3年生 129名

講師：大館 真晴 氏

### ・ 応募のきっかけ

⇒ 宮崎の歴史や古事記、野尻のことについて、生徒たちにより学んでほしいと思い応募した。



野尻は、昔は「野後」と記載されており「後」という字は都から遠いという意味で使われていました。（筑前（都から近い）、筑後（都から遠い）等と同じ。）

小林市一帯は、昔は夷守（ひなもり）と呼ばれ、朝廷の施設が設置されており、宮崎市から小林市に向かう国道268号は、当時から道として使用されていました。

12代天皇の景行天皇は、熊襲討伐のため宮崎に来たことがあり、都に帰る際に小林を通ったところ、地元の人たちからご馳走を振舞われたという記録が残っています。

昔のことを知るということは、昔の人の考えや価値観、文化を知ること。例えば、平安時代のトイレ跡からは、牛肉を食べていないと存在しない寄生虫の卵の跡が見つかったことから、当時の人が牛肉を食べていたということが判明しています。



### ・ 児童の感想

⇒ ・ 野尻の歴史を知る機会があまりなかったため、とても勉強になった。

・ 歴史はあまり得意でなかったが、昔のことを学ぶ理由が分かった。